

令和5年度意見とりまとめ

1.同窓会に関して

①卒業生の動向の把握について、毎年実施してはどうか。卒業生とのやりとりからアイデアを頂くこともあるのではないか。会誌発行を引き続き行い、こちらから発信していくことも重要で今後も工夫が必要である。

回答

令和5年度の同窓会総会で、ホームページの立ち上げが了承され現在見積もりを取って調整中である。今後はホームページを利用して同窓会の方への呼びかけ等していく予定
Google フォームを使用して、卒業生に対して動向調査実施した。内容(・現在の職場・現在の職場は何年目・卒業後の取得資格等) 回答率 48.1%

②同窓会費はどのようにしているのか。

回答

入会時に同窓会費を納めてもらっている。以前、寄付金という形で同窓生から募ったことがあったがほとんど集まらなかった。会誌発行にもお金がかかるので、今後はホームページを通して呼びかけていきたい。

③同窓会費を、協力金と名称を変更してはどうか。協力金を出すことによるメリットについて周知し、研修などの活動を充実させていくことが大切と考える。

回答

今後検討する。メリットについて今後検討していきたい。

2.教員の研究について

①研究は、学生指導のためにも必要である。自分たちの日々の学習支援・生活指導等に関して成果をまとめることも大切である。どんなことが課題となるか出し合う機会を作り、他校との比較なども必要である。

回答

一部の教員のための研究活動実施している状況なので、学校全体で声かけ合い課題の発見や研究の取り組み実施。

また、外部の講師に、現在研究指導を依頼している。

3.学生募集について

1)今後どのように取り組んでいくか

回答

①令和6年度より入試内容の変更あり。指定校推薦開始・公募推薦・AO入試・職場推薦・社会人入試・一般入試と学生の受験に対する多様性配慮した体制取り組み実施。

ガイダンスに来ていただいた学生には、こちらから積極的にアプローチしていく。

②在校生にも「魅力のある学校」について直接声を聞いた。学生から上がった声に耳を傾け、

学生募集に取り組んでいきたい。

③近年大学卒業の受験生が多く、大学のキャリア支援課へもアプローチし、大学卒業後の看護師資格取得へ働きかけていく。

④オープンなキャンパスを3回実施し学生及び保護者に学校のことを知っていただく。

2)学費が高いがそこをどう自校に学生を集めていくか

学費が高くてもそれに似合う付加価値があれば学生は確保できる。学校経営のために学生を確保するだけでなく、学生を育成しサポートしていくことが大切ではないか。

- ・ 駅が近く通学に便利
- ・ 学びやすい施設の充実
- ・ 確実に資格修得ができる指導体制 という意見。

回答 以下の体制整備

①国家試験対策として、学生の個別の学力に合わせた教員の指導体制

②模擬試験実施後の解説による学びの復習体制充実

③一年次から三年計画で国家試験に対する指導体制の充実